

大田区都市計画マスタープラン改定に向けた
アンケート調査結果の速報

Web 公募によるアンケート調査

令和元年 11 月

アンケートの実施概要

● 目的

区の内外を取り巻く情勢の変化などを踏まえて、具体性ある将来ビジョンを確立し、まちづくりを推進するため、都市計画マスタープランの改定に向けた検討を令和元年度から開始する。これに伴い、現行大田区都市計画マスタープラン（平成23年3月改定）の成果検証や今後のまちづくりの方向性の検討等に役立てるため、区民アンケートを実施する。

● アンケートの実施方法

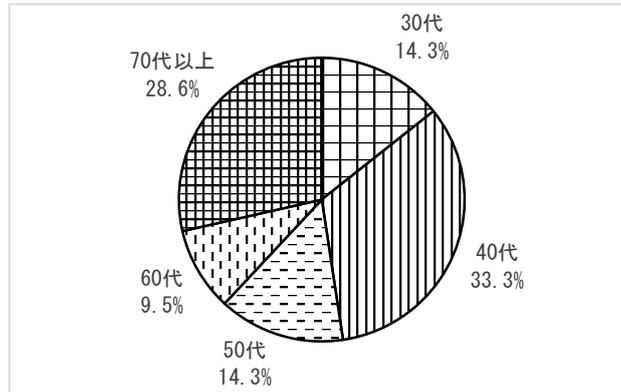
WEB 公開アンケート

- (1) 対象：公開（年齢、国籍問わず、区内在住でなくても回答可能）
 - (2) アンケートの回答及び提出方法：以下のいずれかの方法で回答
 - ・ 【郵送】大田区 HP よりアンケート用紙をダウンロード後、都市計画課へ郵送
 - ・ 【電子申請】大田区 HP からアクセス可能な専用の回答フォームから回答
 - (3) 実施期間：令和元年9月11日（水）～令和元年10月11日（金）
 - (4) 回収結果
 - ・ 回収数：21通（すべて電子申請での回答）
- ### ● 設問の概要
- (1) 属性
 - (2) 現行都市計画マスタープランの認知度について
 - (3) まちづくりに関する8つのテーマの満足度や今後のまちづくり等について
（土地利用、交通ネットワークの整備、水と緑のまちづくり、安心・安全なまちづくり、住宅・住環境の整備、産業のまちづくり、景観のまちづくり、環境のまちづくり）
 - (4) 大田区のまちづくりの魅力や課題について
 - (5) まちづくりへの参加経験について

1. 属性

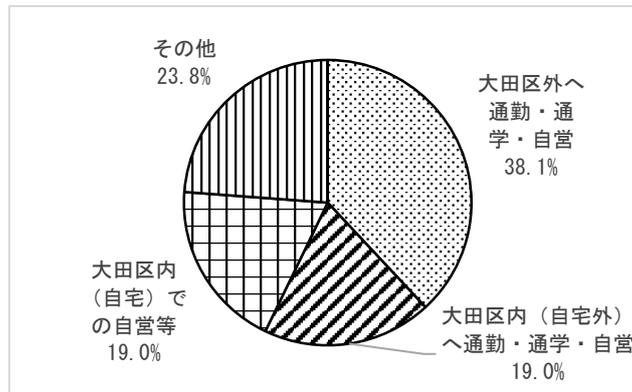
● 年齢層

・「40代」の回答者が33.3%と最も多い。次いで「70代以上」の回答者が28.6%、「30代」及び「50代」の回答者が14.3%と多い。



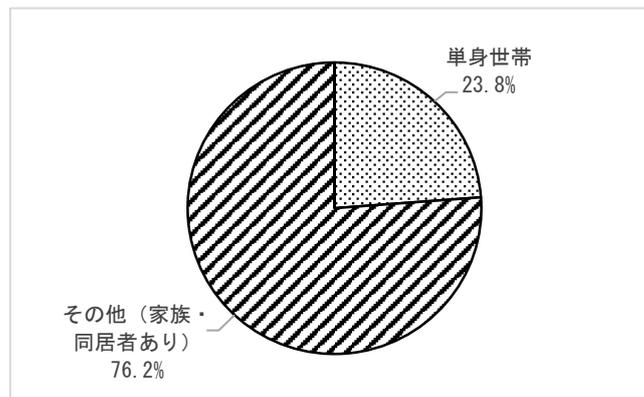
● 通勤・通学地

・「大田区外へ通勤・通学・自営」の回答者が38.1%と最も多い。



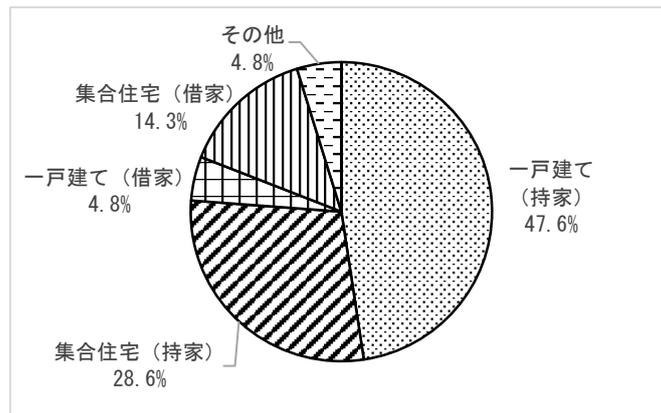
● 世帯構成

・「その他(家族・同居者あり)」の回答者が76.2%を占める。



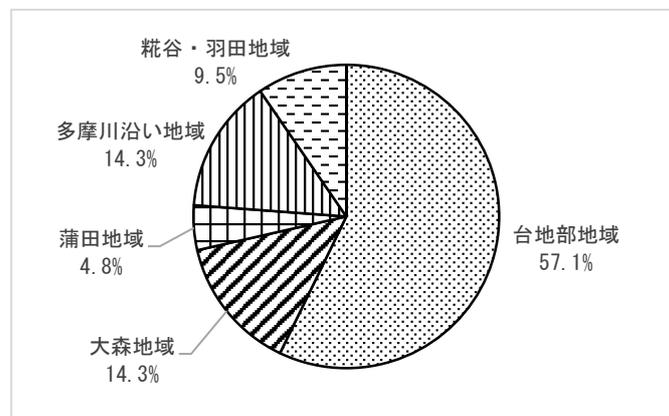
- 居住形態

- ・「一戸建て（持家）」が約5割を占める。



- 居住地域

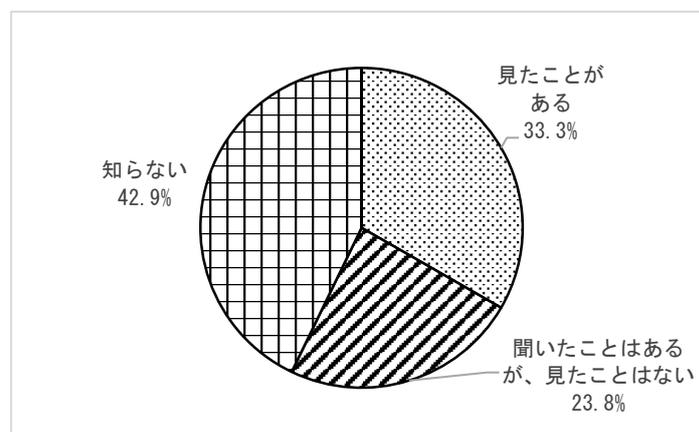
- ・「台地部地域」の回答者が57.1%と最も多い。



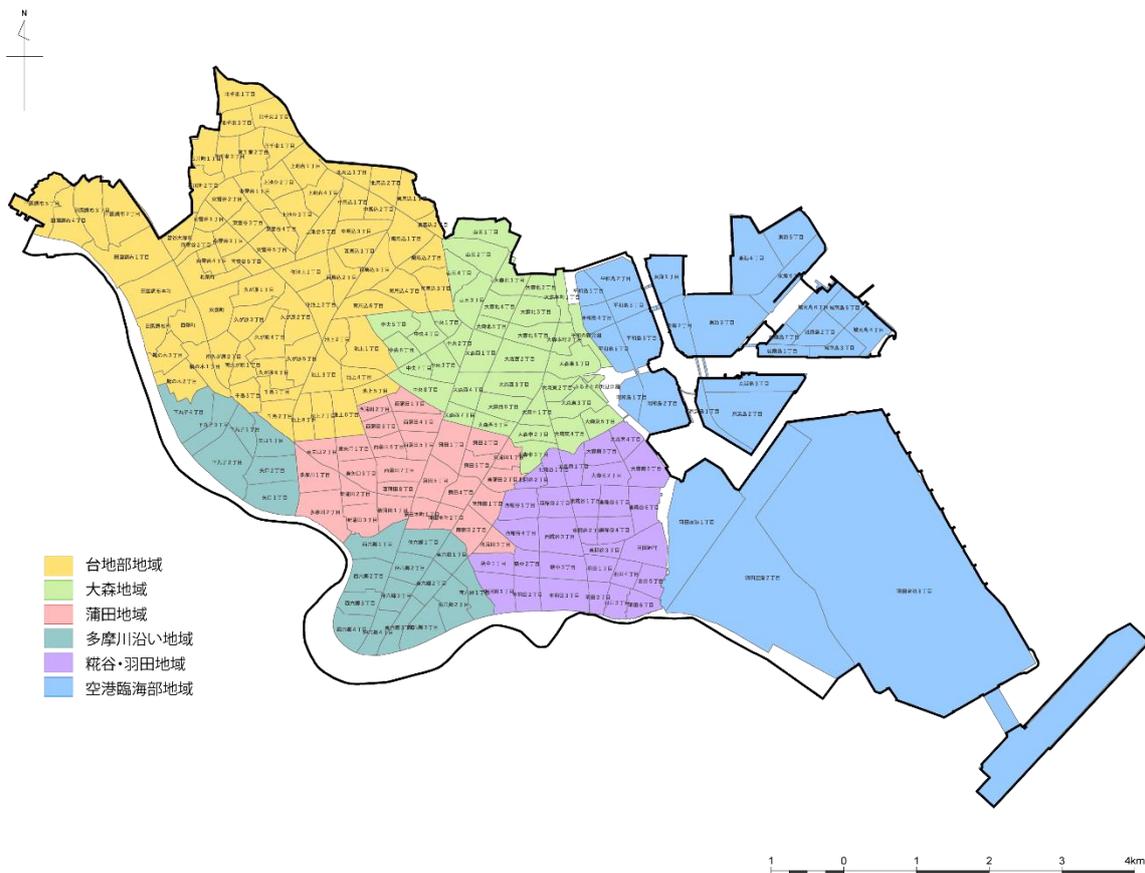
2. 現行都市計画マスタープランについて

- 都市計画マスタープランの認知度

- ・「知らない」を選択した回答者が42.9%、「聞いたことはあるが見たことはない」を選択した回答者が23.8%であり、都市計画マスタープランを知らない、または見たことがない人は約7割弱である。



(参考) 地域区分図

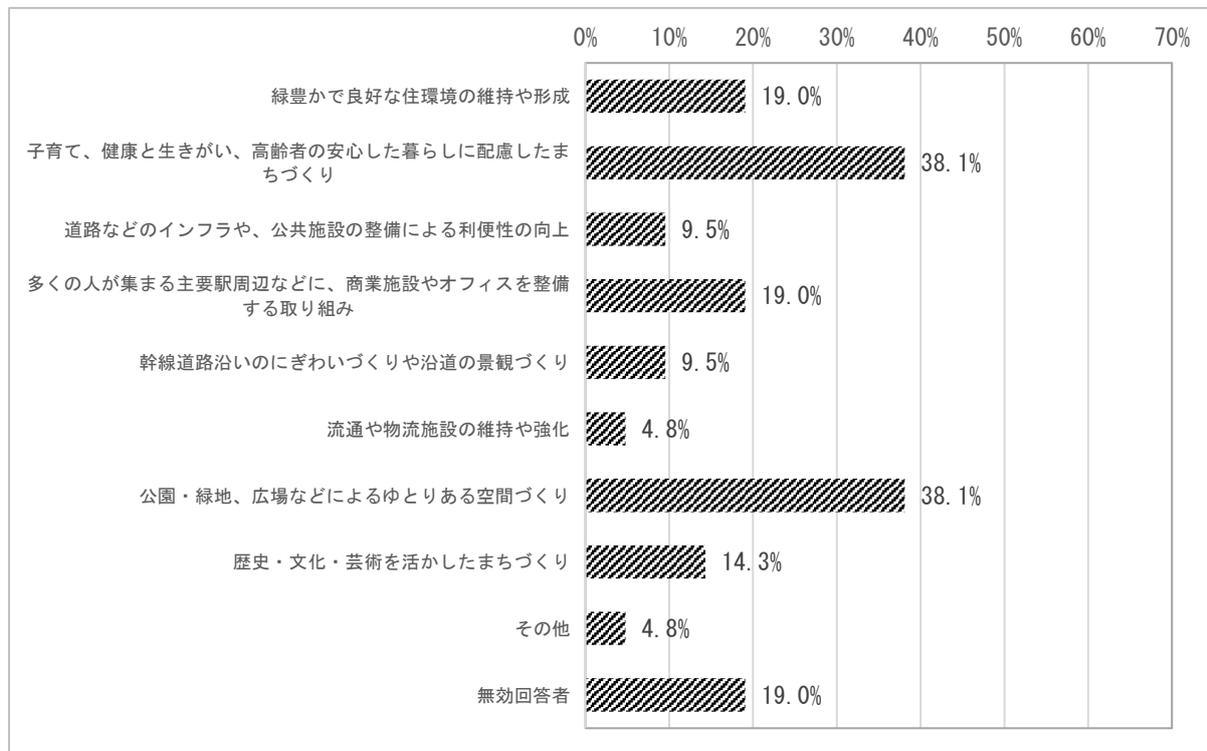


地域区分	町丁目
1 台地部地域	池上1～8丁目、石川町1・2丁目、鷺の木1～3丁目、上池台1～5丁目、北千束1～3丁目、北馬込1・2丁目
	北嶺町、久が原1～6丁目、千鳥1～3丁目、田園調布1～5丁目、田園調布本町、田園調布南
	仲池上1・2丁目、中馬込1～3丁目、西馬込1・2丁目、西嶺町、東馬込1・2丁目、東嶺町
	東雪谷1～5丁目、南久が原1・2丁目、南千束1～3丁目、南馬込1～6丁目、南雪谷1～5丁目、雪谷大塚町
2 大森地域	大森北1～6丁目、大森中1～3丁目、大森西1～7丁目、大森東1～5丁目、大森本町1・2丁目
	山王1～4丁目、中央1～8丁目、ふるさとの浜辺公園、平和の森公園
3 蒲田地域	蒲田1～5丁目、蒲田本町1・2丁目、新蒲田1～3丁目、多摩川1・2丁目、西蒲田1～8丁目、
	東蒲田1・2丁目、東矢口1～3丁目、南蒲田1～3丁目
4 多摩川沿い地域	下丸子1～4丁目、仲六郷1～4丁目、西六郷1～4丁目、東六郷1～3丁目、南六郷1～3丁目、矢口1～3丁目
5 糀谷・羽田地域	大森南1～5丁目、北糀谷1・2丁目、西糀谷1～4丁目、萩中1～3丁目、羽田1～6丁目、羽田旭町
	東糀谷1～6丁目、本羽田1～3丁目
6 空港臨海部地域	京浜島1～3丁目、城南島1～7丁目、昭和島1・2丁目、東海1～6丁目、羽田空港1～3丁目、平和島1～6丁目

3. まちづくりに関する8つのテーマについて

- 大田区のまちづくりの方向性や将来のまちの姿について

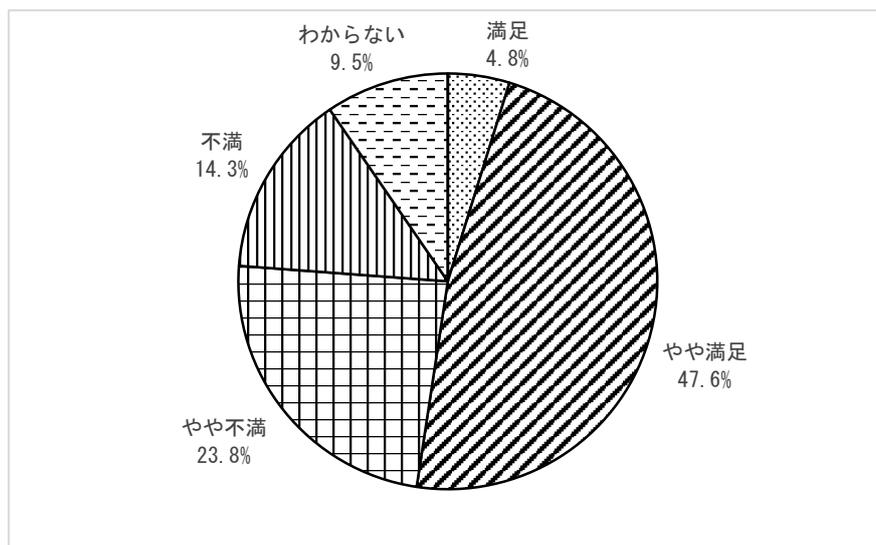
- ・「子育て、健康と生きがい、高齢者の安心した暮らしに配慮したまちづくり」、「公園・緑地、広場などによるゆとりある空間づくり」を選択した回答者が38.1%と最も多い。



- 大田区のまちづくりの方向性（住宅、工場、商業のバランスがとれているか）の満足度

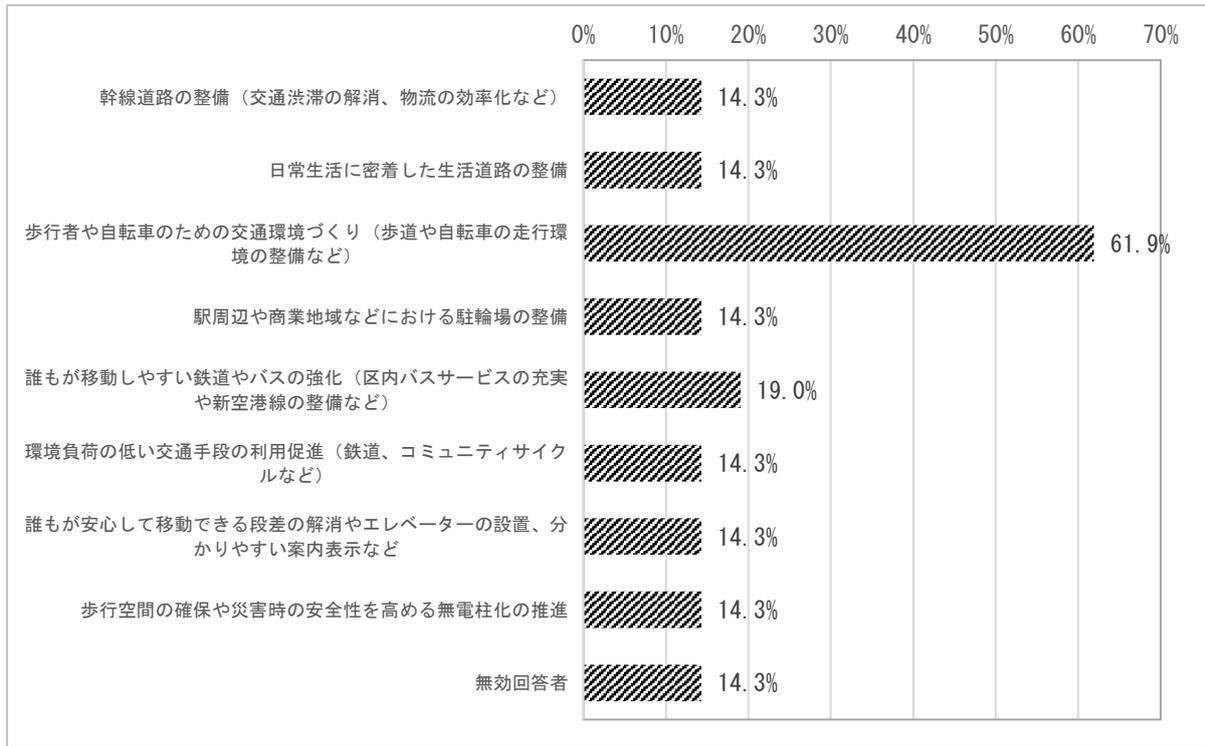
- ・「やや満足」を選択した回答者が47.6%と最も多い。

- ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は52.4%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は38.1%である。



● 快適な交通環境の整備

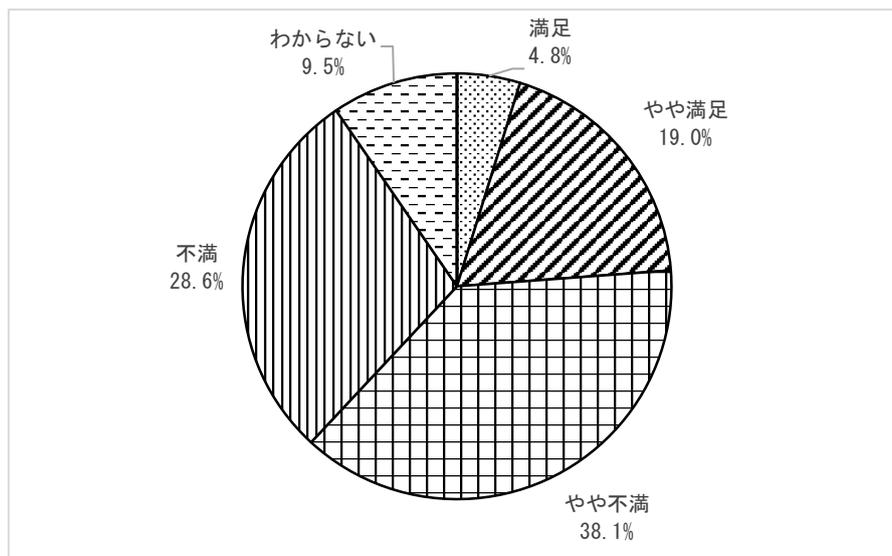
・「歩行者や自転車のための交通環境づくり」を選択した回答者が61.9%と最も多い。



● 快適な交通環境を目指した取り組みの満足度

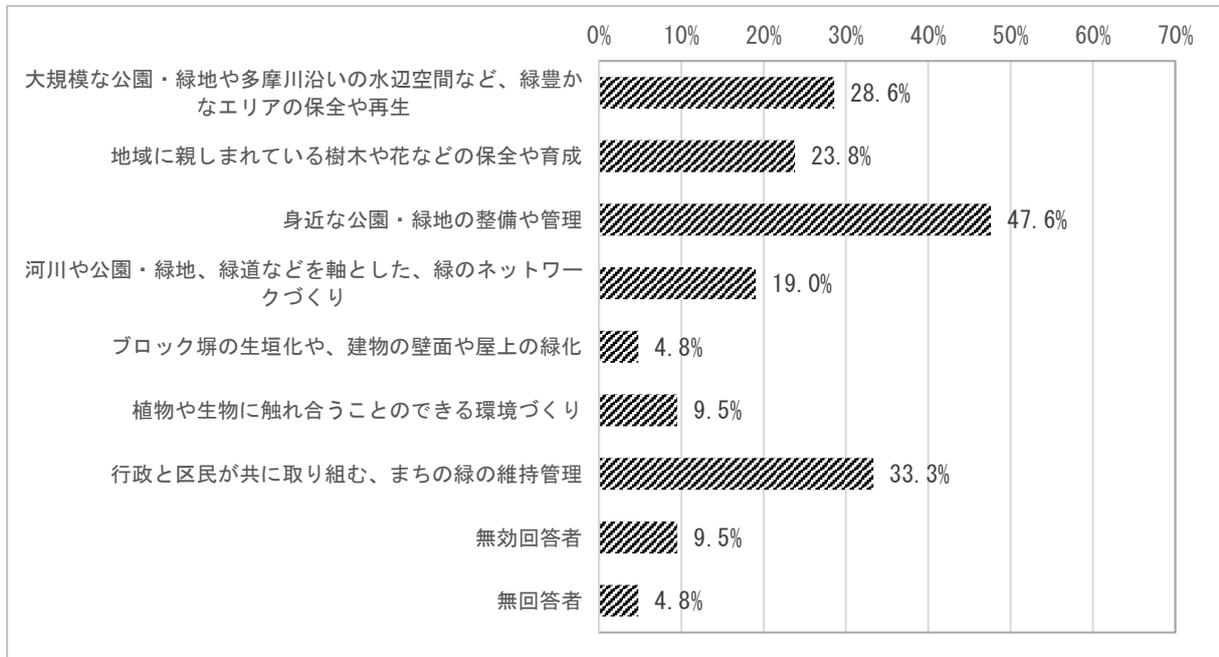
・「やや不満」を選択した回答者が38.1%と最も多い。

・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は23.8%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は66.7%である。



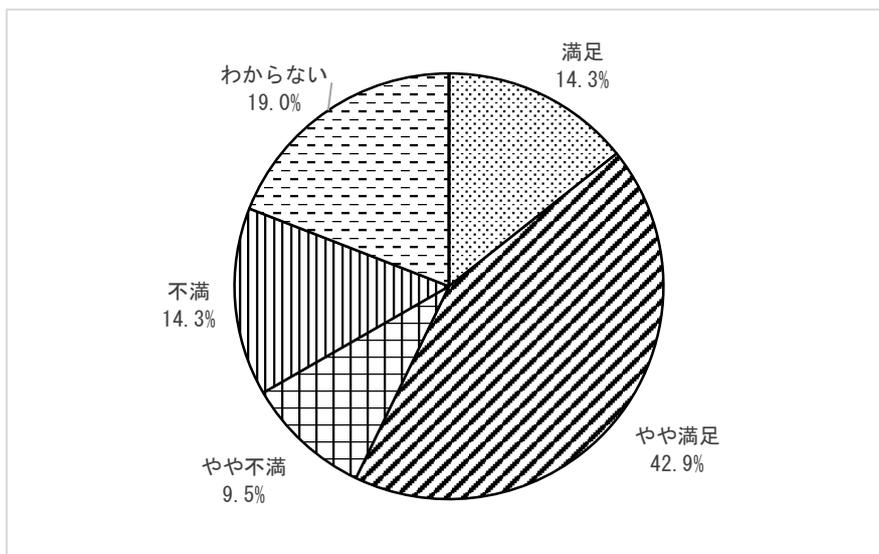
● 潤いとやすらぎのある、水と緑のまちづくり

・「身近な公園・緑地の整備や管理」は、47.6%の回答者が選択している。次いで「行政と区民が共に取り組む、まちの緑の維持管理」が33.3%と多く、日常的な生活に必要な公園や緑地と、それを維持・管理するための取り組みを重要視する意見が多い。



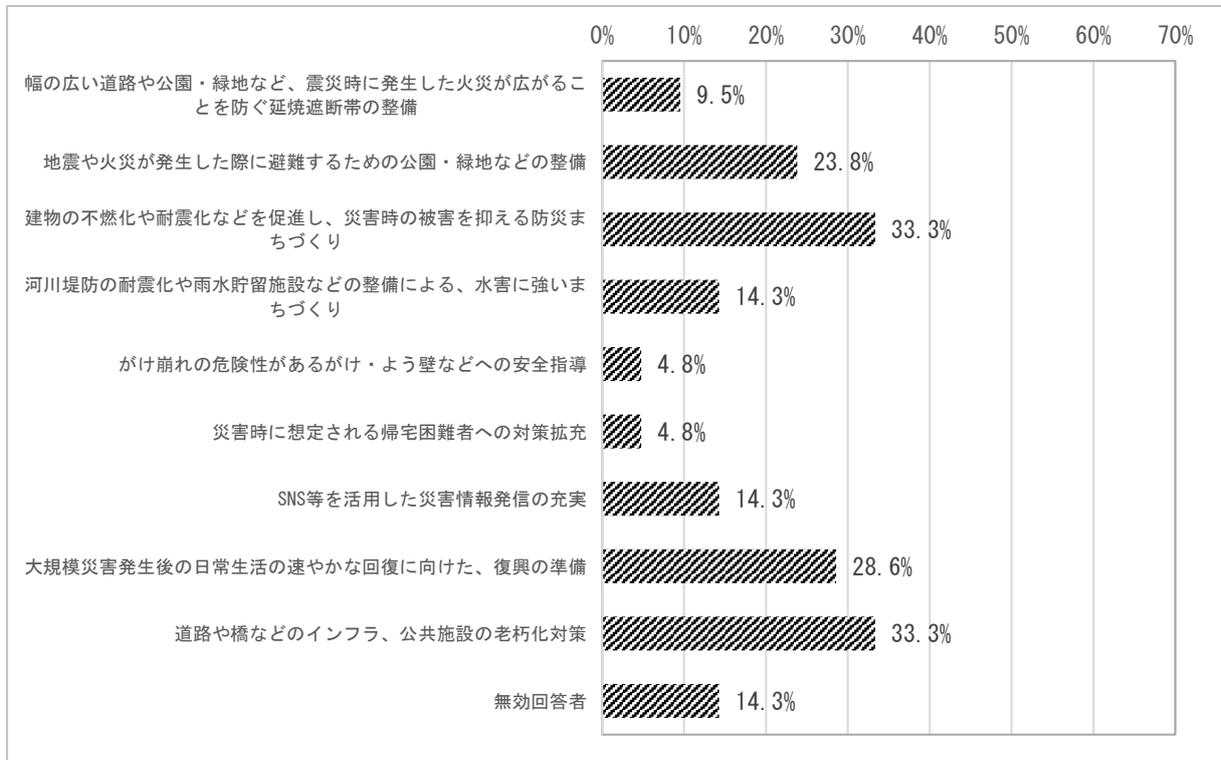
● 潤いとやすらぎのある、水と緑のまちづくりの満足度

・「やや満足」を選択した回答者が42.9%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は57.2%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は23.8%である。



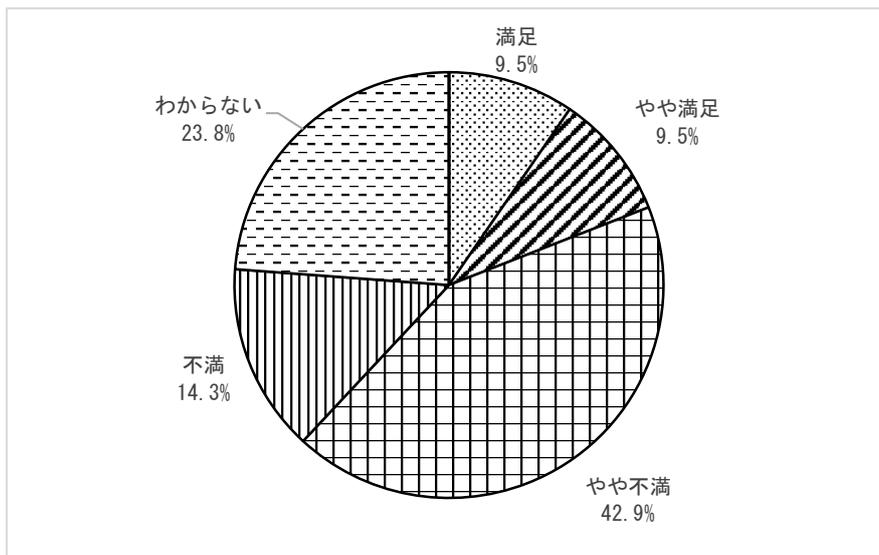
● 安全・安心なまちづくり

・「建物の不燃化や耐震化などを促進し、災害時の被害を抑える防災まちづくり」や「道路や橋などのインフラ、公共施設の老朽化対策」が33.3%と最も多い。その他にも、火災時の延焼被害を抑える公園や緑地の整備や災害発生後の速やかな回復など、災害に対する意見が多い。



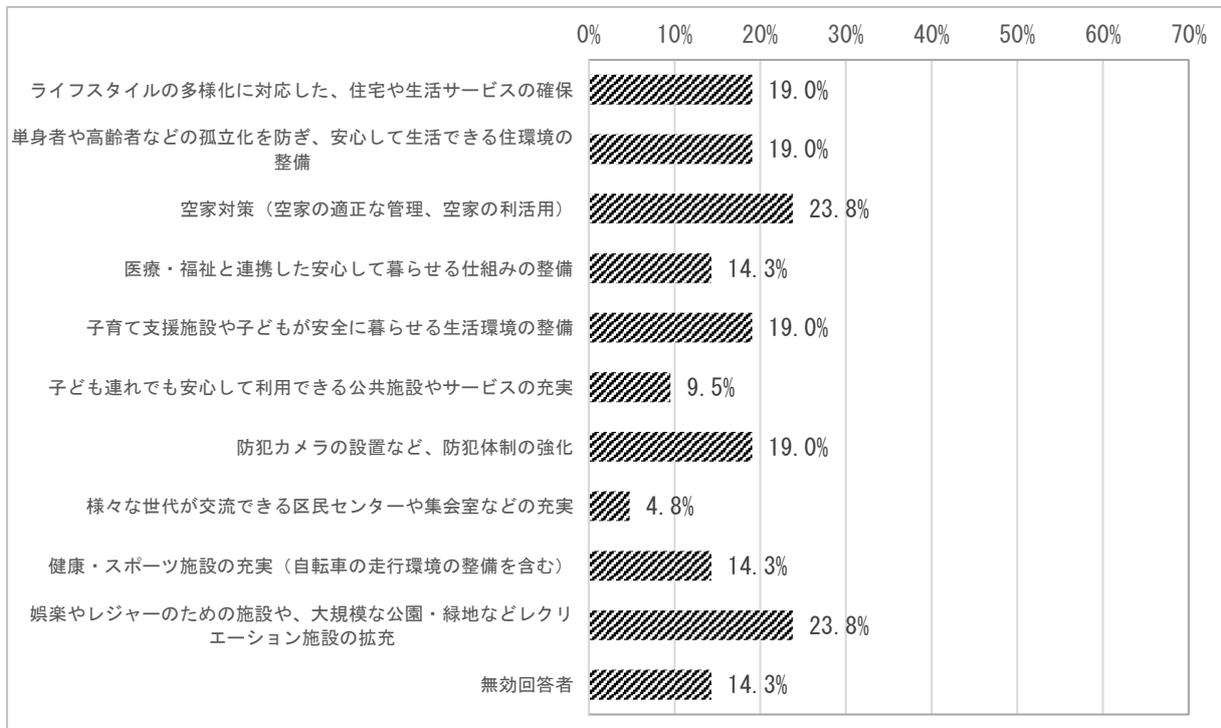
● 安全・安心なまちづくりの満足度

・「やや不満」を選択した回答者が42.9%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は19.0%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は57.2%である。



● 誰もが住みやすい住環境

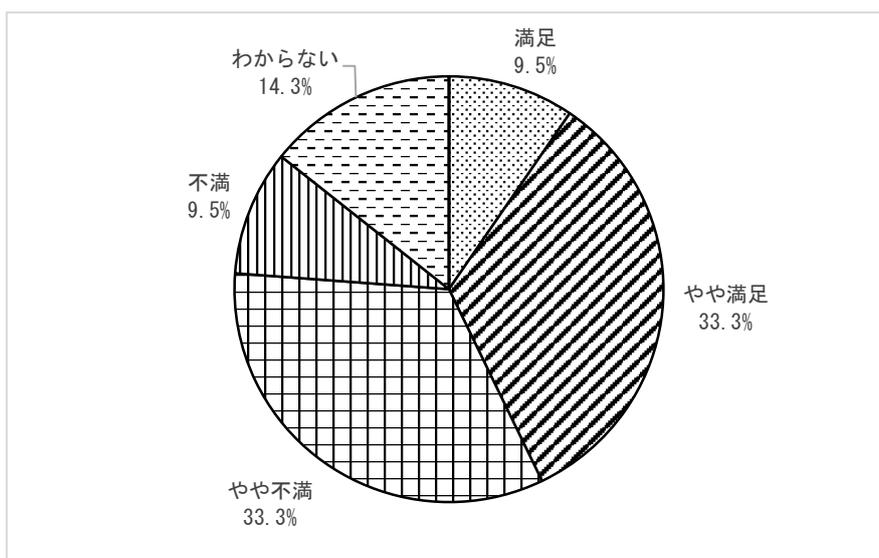
・「空家対策（空家の適正な管理、空家の利活用）」や「娯楽やレジャーのための施設や、大規模な公園・緑地などレクリエーション施設の拡充」を選択した回答者が 23.8%と最も多い。



● 誰もが住みやすい住環境を目指した取り組みの満足度

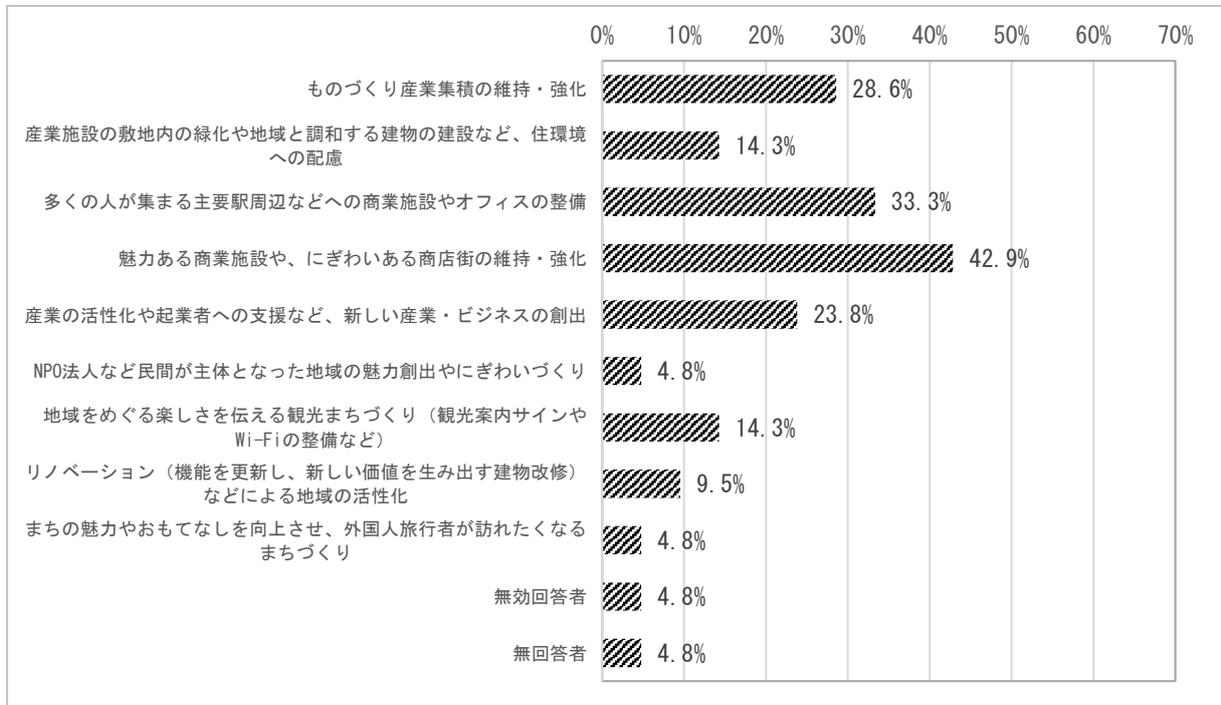
・「やや満足」、「やや不満」を選択した回答者が 33.3%と同率である。

・「満足」または「やや満足」を選択した回答者、及び「不満」または「やや不満」を選択した回答者はともに 42.8%である。



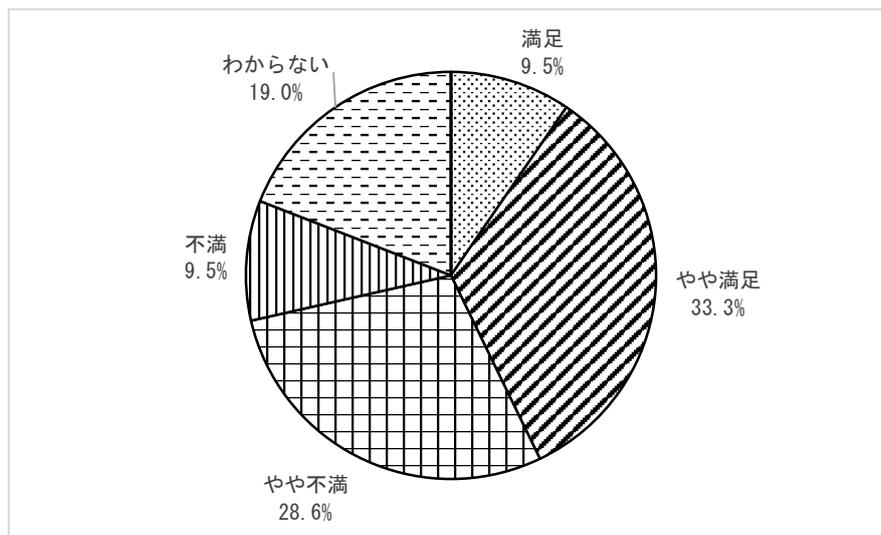
● 産業分野におけるまちづくり

・「魅力ある商業施設や、にぎわいある商店街の維持・強化」を選択した回答者が 42.9%と最も多い。次いで、「多くの人が集まる主要駅周辺などへの商業施設やオフィスの整備」を選択した回答者が多く、日常生活圏の商業サービスの維持や主要駅エリアの商業・業務機能の整備を重要視する意見が多い。



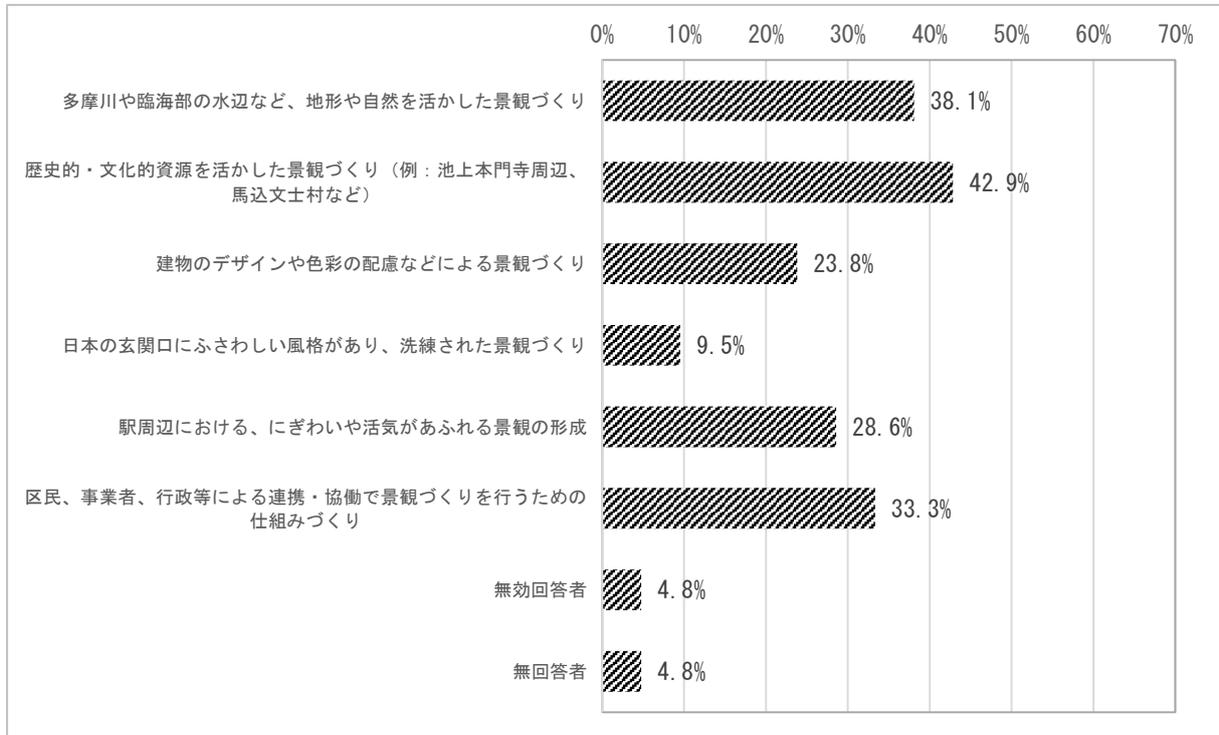
● 産業分野におけるまちづくりの満足度

・「やや満足」を選択した回答者が 33.3%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 42.8%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 38.1%である。



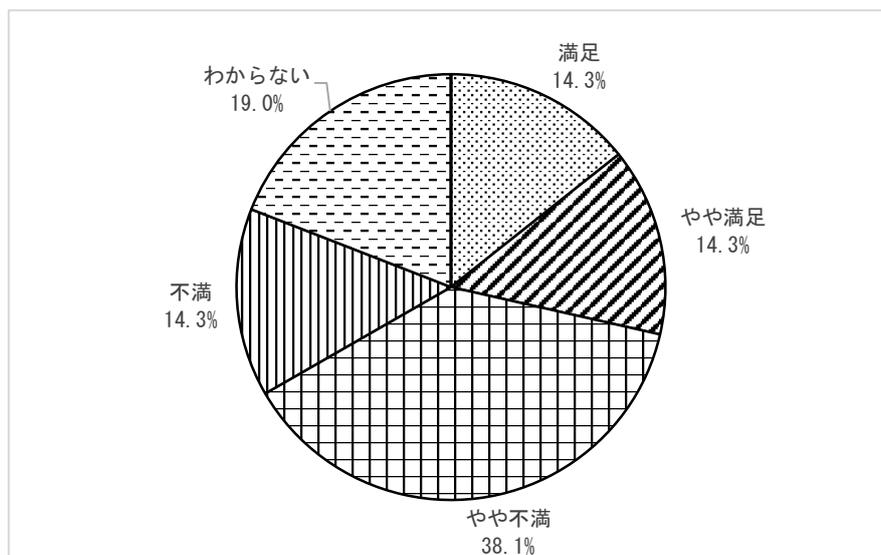
● 魅力ある景観形成や、大田区らしい景観形成

・「歴史的・文化的資源を活かした景観づくり」を選択した回答者が 42.9%と最も多い。次いで「多摩川や臨海部の水辺など、地形や自然を活かした景観づくり」を選択した回答者が 38.1%と多く、大田区の自然環境や歴史、文化的資源を活かした景観を重要視する意見が多い。



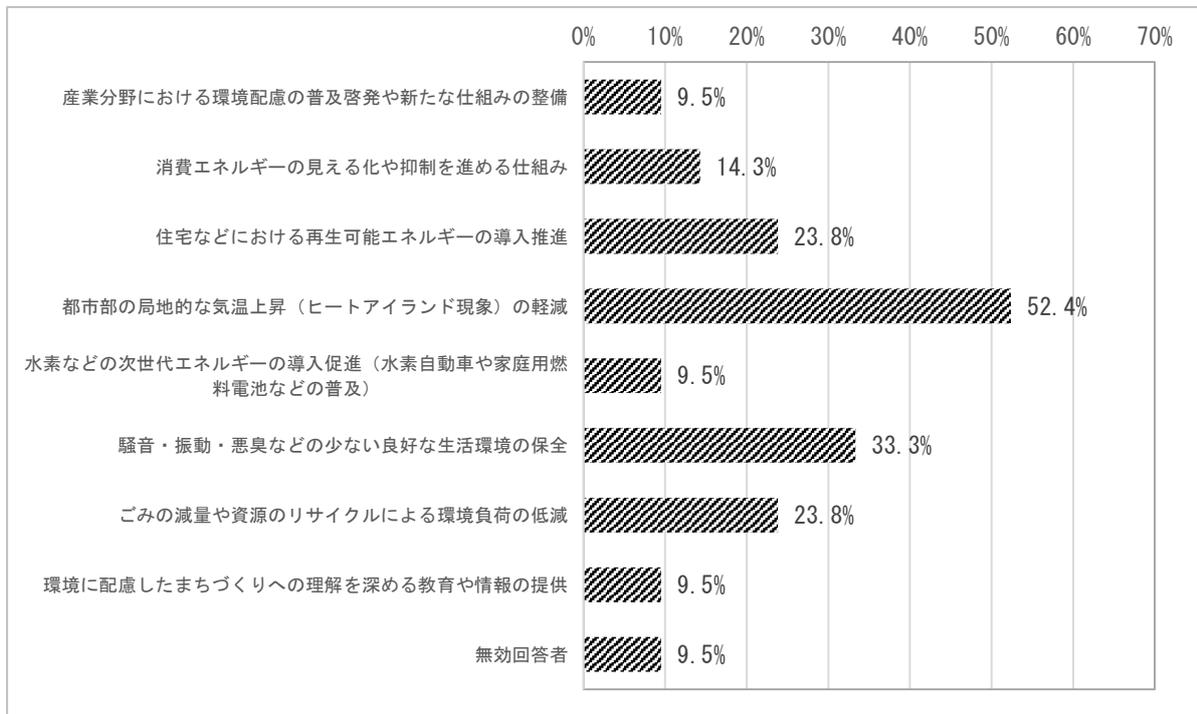
● 魅力ある景観形成や、大田区らしい景観形成についての満足度

・「やや不満」を選択した回答者が 38.1%と最も多い。
 ・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は 28.6%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は 52.4%である。



● 環境に配慮したまちづくり

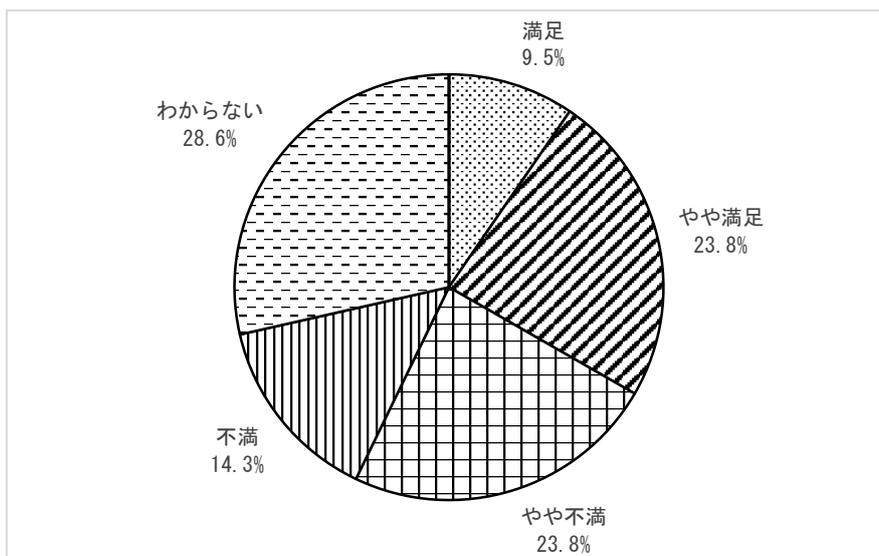
・「都市部の局地的な気温上昇（ヒートアイランド現象の軽減）」を選択した回答者が最も多く、52.4%と過半数に達している。



● 環境に配慮したまちづくりの満足度

・「わからない」を選択した回答者が28.6%と最も多く、次いで「やや不満」、「やや満足」が23.8%である。

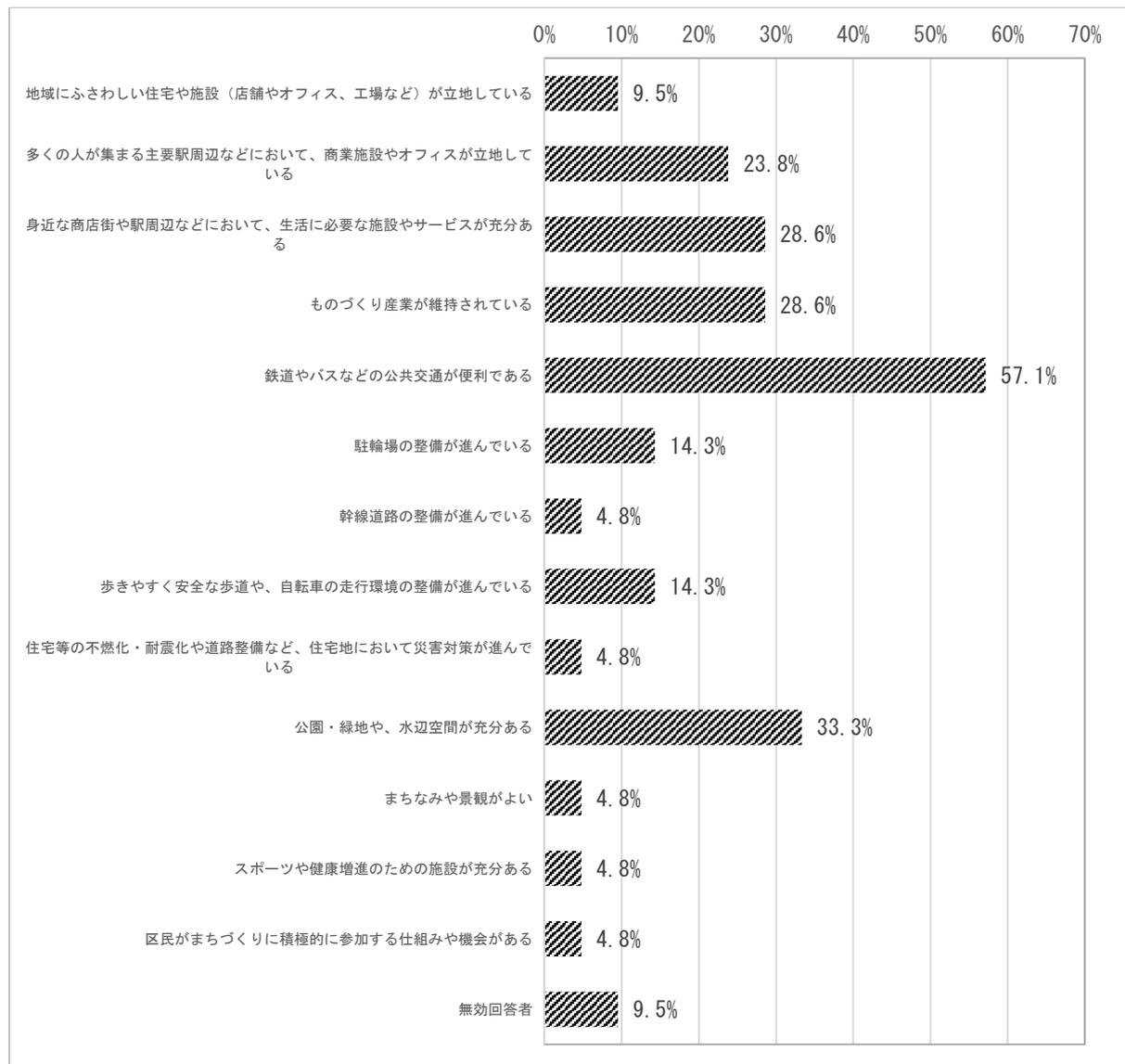
・「満足」または「やや満足」を選択した回答者は47.6%、「不満」または「やや不満」を選択した回答者は35.1%である。



4. 大田区のまちづくりの魅力や課題について

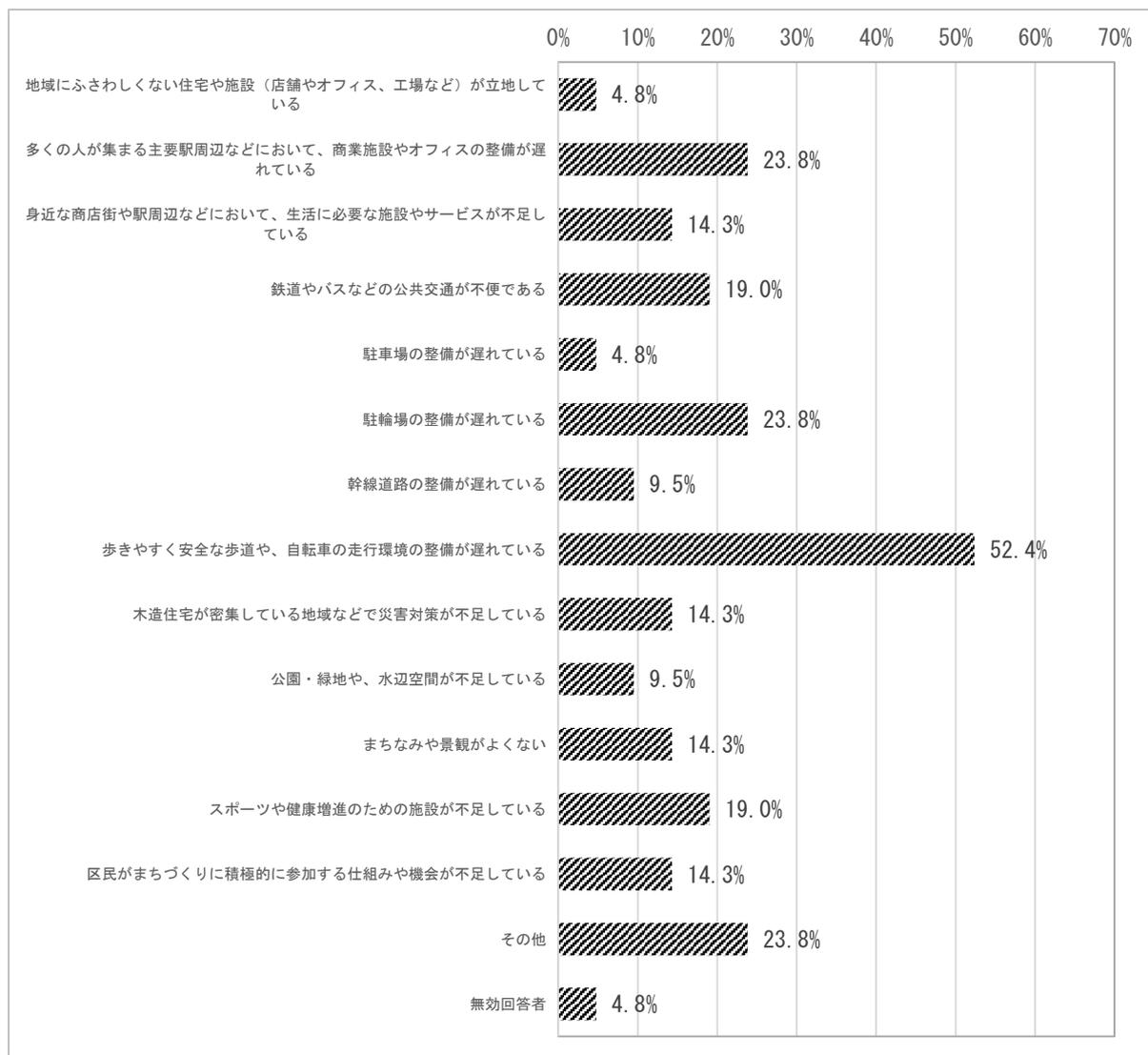
● 大田区のまちづくりについて良いと感じること

・「鉄道やバスなどの公共交通が便利である」を選択した回答者が最も多く、5割を超えている。次いで、「公園・緑地や、水辺空間が充分ある」を選択した回答者が3割を超えており、公共交通の利便性や公園や水辺空間などの自然環境に魅力を感じている人が多い。



● 大田区のまちづくりについて課題だと感じること

・「歩きやすく安全な歩道や、自転車の走行環境の整備が遅れている」を選択した回答者が 52.4% であり、過半数の人が歩行者や自転車のための空間に課題を感じている。



5. まちづくりへの関心と参加経験について

- ・「まちの将来像やビジョンなどについての議論」が 52.4%と最も多く、次いで「地区のまちづくりに関するルールづくり」について、関心を持っている人が多い。
- ・まちづくり活動に参加した経験がある人は、38.1%である。

